

中国を知る 中国語を知る

——インターネットを使って中国語を検索する—— 荒川清秀・中西千香



はじめに

用例を採る

日本人として中国語を勉強したり教えたりする場合、生き生きとした用例は命である。昔まだ中国と国交がなく、「活きのいい中国人」が身近にいなかった六〇年代後半から七〇年代前半にかけて、本稿の執筆者の一人荒川は、中国語で書かれた小説をひたすら読むでは用例をとつたものである。荒川にとって最初に通読した小説は老舎の『月牙児』であった。これは授業で読んだもので、テキスト版に改編されピンインや注もついていた。このテキストは勉強

会や授業ではぼー〇回は読んだから、ほぼどの語がどこに出てきたか、かつては推測がついた。これとは別に三年生の課外に一人で読んだ最初の中編は老舎の『駱駝祥子』であった。その後、巴金の小説なども読みやすかったので読んでいった。七三年の国交回復後しばらくは文革の時代であったから、「革命読み物」や農民作家と言われた浩然の『艷陽天』『金光大道』といった長編小説を読むでは、これとは思う語に下線を引き、あとでカードにうつしとり、いくらかたまってくと私家版『中国語ノート』にまとめたものだ。こうしたカードやノートは、語学の論文を書くときの用例になったのはもちろん、教材としても、またテキストを編む際にも大いに役に立った。二〇〇三年に大修館書店から中級学習者向けに『一步すすんだ中国語文法』を

出したときは、こうして長年かけて蓄積してきた用例はもちろん、九八年から本務校で学生と読んでいた中国青年報の記者安頤のルポルタージュ『絶対隱私』『回家』以下から採った用例もたくさん使ったし、『失樂園』（渡辺淳一のそれではない。エイズ撲滅宣伝のメッセージをこめた、不慮の事故でエイズ患者となった男の生涯を描いたドラマ）、『来来往往』（現代中国のある男の女性遍歴を描いたドラマ）を始めとするVCD、DVDを見、それらからも用例をとった。VCD、DVDから用例を取る場合は、字幕のついたものが望ましい。なぜなら、止めずに見ながら書き取るためには、字幕があった方が効率がいいからだ。もともと字幕と実際のセリフにはけっこうズレがあるのだが。

また、韓国ドラマである『冬のソナタ』『秋の童話』も、韓国語の聞き取りの練習のために見るほどの力はないかった。中国語の吹き替えで見た。『冬のソナタ』は大陸の中国語による吹き替えであったが、『秋の童話』は台湾国語の吹き替えで、その違いに最初は戸惑いさえした。というのは、大陸中国語の力強さに比べ、台湾国語による吹き替えはいかにも軽くふにやふにやしていて力がなく、途中で放棄しようと思っただけである。ところが、不思議なもので、回を追うにつれ、今度はそのソフトな中国語に魅惑されてしまったのである。もちろん、こう

した吹き替えは翻訳臭が避けられないので、注意しながら用例をとったが。

辞書も用例の源泉

こうした書物からの用例採集とともに、辞書も大きな用例源だった。文革時代は、辞書もいくつも出ていなかったから、『漢英詞典』やロシア語やドイツ語との対訳辞書である『漢俄詞典』『漢徳詞典』なども使った。もちろん、こうした辞書は中国の辞書の権威である『漢語詞典』の影響下にあるから似たような例も多いのだが、独自の用例もあって参考になった。中国で本格的な「対外漢語教育」が始まったのは八〇年代で、一九八〇年に『現代漢語八百詞』ができたことは革命的なことであった。最近では、『近義詞用法対比一七〇〇対』『当代漢語學習辭典（初級本）』『學漢語用例詞典』（いずれも北京語言大學出版社）等外国人學習者を対象とした便利なものも出てきた。そのうち、筆者が日頃愛用するのは、『漢英雙解詞典』（北京語言大學出版社）と『漢語常用詞用法詞典』（北京大學出版社）である。特に後者は用例の自然さ、政治臭のなさでは群を抜いている。

インターネットを使う

こうしてわたしたちが利用できる道具類はかなりそろっ

てきた。しかし、ネイティブスピーカーでないわたしたちにとつて、いつまでたつても安心できる境地に至ることはない。その一つは、これだけ便利なものがそろつても、ネイティブスピーカーでないわたしたちには、無限に中国語を生み出す力やある文の当否を判断する力がない、あるいは足りないからである。

その一つは語と語のむすびつき、コロケーションの当否がわからないということがある。たとえば、「おかゆを食べる」のは「吃」か「喝」と言われて即答できる人がどれだけいるだろうか（解答は「喝」。しかし、「吃」という人もいる）。もう一つは辞書にない（ない方が多いのだが）ことばの意味をどうするかということがある。これには、単語レベルから、フレーズ、構文レベルまである。

これらは、もちろんネイティブスピーカーに聞けばたちどころに解決するかも知れない。しかし、後でも述べるように、中国人に聞けばすべての疑問が氷解するわけではない。それは、各人の言語体験の広さともかわつてくる。言語体験の狭い人に聞けば、「そんな中国語はない」とたちどころに否定されるのが落ちだ。本当なら「わたしはそうは言いません」と答えるのが良心的な答えであるが。一方で、聞くにしてもある程度こちらが用例をもつていなければ、聞く範囲が限られてしまう。自分でつくる用例がいかに範囲のせまいものであるかは、自分自身が日本語の用

例をどれだけあげられるかを考えてみてもわかる。

それはともかく、ネイティブに聞くにしても多くの用例をあらかじめ用意しておかなければならない。では、どうやって準備するか。ここでインターネット検索に登場してもらうことになる。もちろん、インターネットで拾う例はさまざまなのが混在している。よくネイティブの人に聞いたときに、「口語ではそうも言う、そうも聞く」という答えをもらつて当惑することがあるが、あれである。口語ではなんでも許されるというやつである。インターネットに出てくる用例はいわばなんでもありに近い。しかし、やはり、そこにはある傾向があつて、よく使うもの、だれもが認める例はヒット数が多い。そうでないものは、ないというメッセージが出たり、出てきても例がかなり少数であつたりする。したがつて、わたしたちはインターネットを力強い味方にはするものの、それに全面的に頼るのも危険である。最後はやはりネイティブスピーカー、それも複数の信頼すべきネイティブスピーカーに聞いて確認し、かつ自らも思考する必要がある。

インターネットの利用は、以上にあげた語句の検索にとどまらない。これを使ってさらに中国、中国人、中国の社会というものをすることもできる。一般的な事柄でネットを利用することほだれでもやるだろう。しかし、ここでは、語句や文を通じて中国、中国社会を知るといふ試

みも紹介してみたい。

以下、第一節ではまず、中西がインターネット検索の基本的な方法を解説し、あわせて実際にインターネットで学生にことばをどう検索させたかという実践を紹介する。第二節では荒川が主として講読の授業で、中国青年報の記者、安頓のルポを読む際にぶつかった問題をインターネットでどう検索し解決したかを書く。

一 中国語学習者が中国、中国語を知るためには

(一) 中国語を打てるようになるためには

まず、中国語を打てるようになるには何を身につけていないといけないのか。何より大切なことはピンインの把握である。つまり、ミスタイプなしで打てるようになる \parallel ピンインの完全な把握ということの意味する。筆者(中西)は授業の最初に必ずピンインの理解度を確かめるためのチェックシートを用意する。その結果は決してよいとはいえない。用品などの軽い間違いから、存在しないピンインを書いてみたり、はたまた声調符号を入れる位置を間違えたりと、軽症から重症までさまざまである。これらのチェックから感じることは、ピンインの乱れ \parallel 発音の乱れ

になるということである。中国語をパソコンで打とうとするなら、これを一つの機会に、一度自己のピンイン把握をチェックしていただきたい。そしてピンインのルールを理解し、ピンインに対応する発音について改めて理解してから次のステップに進むことをおすすめしたい。

ピンインを確認したあとは、中国語の文章ルール、中国語独特の記号についてもしつかりと押さえておく \uparrow と便利である。例えば、「・」(「」逗号)、「、」(「」顿号)、「:」(「」冒号)、「:」(「」分号)、「……」(「」省略号)、「《》」(「」书名号)、「□」(「」黑框号・示上号)なども覚えておくといいだろう。そして、文章ルールで大事なことは中国語の文章の段落の始めは二マス開けということである。この点は、長く中国語を学習している人でも、これまで全く気づくことなくきたということが少なくない。

(二) インターネットの世界へ漕ぎ出そう

一通り中国語のピンインルール、文章ルールを確認したら、インターネットの世界を自由に渡り歩くことができる。もちろん、インターネットをただただネットサーフィンしてだけでも楽しい。しかし、何か具体的に調べたいことがでてきた場合に、より手早く調べる方法を知っておくことも重要である。これは日本語での検索でも同じだ。ここでは便利な検索サイトや有用な検索方法をあげ、



百度 : <http://www.baidu.com/>



Yahoo! 中国 : <http://cn.yahoo.com/>



MSN 中国 : <http://cn.msn.com/>

そして、筆者自身授業の中で学習者たちに出した課題や実際の結果から何が見えたのかを紹介したい。
まず、中国でよく用いられている検索サイトをあげてみよう。

検索エンジン

- ① 百度 : <http://www.baidu.com/>
- ② Google (中国) : <http://www.google.com/intl/zh-CN/>
- ③ Yahoo! 中国 : <http://cn.yahoo.com/>
- ④ MSN 中国 : <http://cn.msn.com/>

辞書サイト

- ⑤ Wikipedia (中国) : <http://zh.wikipedia.org/wiki/>
 - ⑥ 北辞郎 : <http://www.ctrans.org/cjdic/index.php>
- ①は言わずと知れた、大陸最大シェアを誇る検索エンジンである。②も日本語版と同様、さまざまなコンテンツを提供しており、便利さの質は高い。③、④は日本でも馴染み深い、ポータルサイトである。⑤、⑥はいわゆる辞書サイトである。⑤は日本語版もあるが、ユーザー参加型の百科事典で、信頼性についてはさっておき、簡単に調べられるだけなら有用なサイトである(ちなみにこのサイトは大陸中国



Wikipedia (中国) : <http://zh.wikipedia.org/wiki/>



北辞郎 : <http://www.ctrans.org/cjdic/index.php>

では閲覧不可)。⑥もユーザー参加型の巨大な辞書である。日々更新されているので、辞書にない新語やテクニカルチームなどに強い。ただこれも一般の辞書と違い、信用度が高いかどうかの判断は難しいところがある。

さて、以下では「高級検索」(高級検索機能)を使って、いかに中国、中国人、中国語を知ることについて紹介したい。

(三) 『高級検索』(高級検索機能) からさまざまな中国を知る

高級検索機能は検索エンジンについている、より複雑な

条件で語を検索する方法である。これらを駆使するとごく基本的なキーワード検索とは異なり、絞り込み検索で、より知りたい情報を得られることはもちろんのこと、検索結果から今までのと違う中国語や中国を知る一つの手がかりを得ることができる。

では、まず「百度」の「高級検索」のページを例に高級検索機能について簡単に紹介しよう。

それぞれの説明は右に掲げた通りである。後述の(五)「高



百度の高級検索

① and (キーワードすべてを含む)、or (キーワードのどれかを含む) など。②検出されたものをいくつずつ表示するか、③どれくらい最近のサイトを選ぶか、④サイトの地域を限定するか、⑤文字 (簡体字か繁体字か)、⑥ファイル形式を選択、⑦キーワードがどこに表示されているのか。⑧あるサイトの中だけに検索を限定する。

度な検索から何が見えたか」で紹介するような高度な検索方法を忘れた際にはこのページに来て検索するとよい。Googleの場合もほぼ同様の「高級検索」ページがあるので次項(四)「有効な検索方法」以下で紹介する検索方法を忘れたときにはこのページを利用するとよい。以下で具体的な実例とともに検索方法を見よう。

(四) 有効な検索方法

より幅広い検索方法が可能なGoogle中国版(「谷歌」)



Google(中国): <http://www.google.com/intl/zh-CN/>
中国語では「谷歌」。この漢字を当てたことは賛否両論。

を例に、より高度な検索方法についてみていく。もちろん、このほかにも有効的な検索方法があるが、優先的に以下の七つの方法を紹介する。

① **Fun Feeling Lucky** ボタン⇨中国語では、「手气不错」。

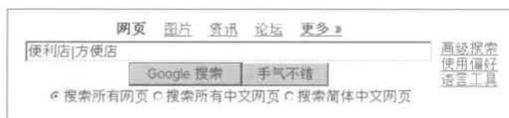
Fun Feeling Lucky ボタンはトップページの検索のボタンの隣にあるボタンだ。キーワードを入れて、このボタンをクリックすると、公式サイト、権威あるサイトや一番人気のサイトなどに直接アクセスする。例えば、「中国政府」と入力すれば、中華人民共和国中央人民政府のサイト(<http://www.gov.cn/>)に直接飛ぶ。より情報がまった公式サイトや信用度の高いサイトへ導いてくれるボタンだ。

② **and** 検索と **or** 検索

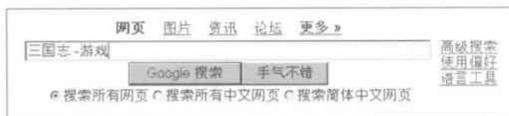
and 検索は名前は知らなくとも一度は試したことがあるだろう。キーワードをスペースで区切って、必要なサイトを効率よく絞っていく方法である。また、**or** 検索は、似たような表現のキーワードをいずれかを含むサイトを一度に検索する方法で、「|」を使って区切る。例えば、中国のコンビニ事情を知りたいという場合に、「便利店」と「方便店」の両方のキーワードを持って検索をする。ただ、**or** 検索は **and** 検索より多くヒットするので絞り込みが難しくなる。

③ **マイナス** 検索

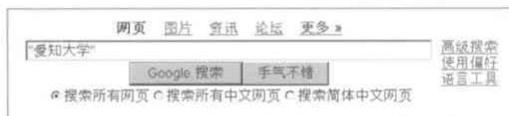
マイナス検索は、同じ語でもいろいろな意味で使われて



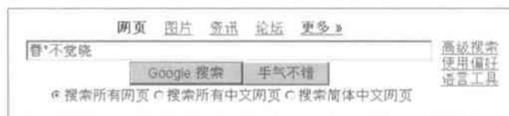
and 検索と or 検索



マイナス検索



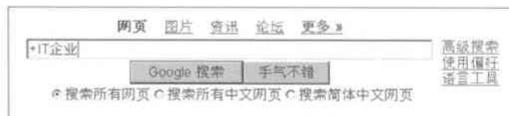
フレーズ検索



ワイルドカード検索



ドメイン制約



ストップ語検索

いるもの（例えば三国志Ⅱ小説の三国志とゲームの三国志……）に対して、検索の抽出を絞る方法である。図にあるように「三国志」「游戏」と入力する。これを行うことで、そのキーワードによって抽出される多くの情報から不要なものを取り去ることが可能になる。

④ フレーズ検索

フレーズ検索はある固定したキーワードだけが出現しているサイトを探すのに有効な方法である。これをベースに別の使用方法に応用できるので、覚えておくと便利だ。固定さ

れた単語より少し短いキーワードについて調べる場合、そのキーワードを「**“**」**”**」（半角で）で囲み、検索する。例えば、愛知大学について調べたい場合、直接「愛知大学」とだけ入力すると、「愛知……大学」も一緒に抽出されてしまう。そこで、「**“**愛知大学**”**」とすると、愛知大学だけの情報を得られる。また、スペースで区切るようなアルファベット表記のもの（人名、地名など）がキーワードの場合にも有効な検索方法である。

⑤ ワイルドカード検索

ある言葉の途中が分からないという場合に「*」（アスタリスク、中国語…「星号」、これも半角で）を使って、検索をする方法である。例えば中国語の漢詩、「春眠不觉晓」の「眠」を忘れたとする。この場合、以下のように分からなくなつた部分を「*」にして、「春*不觉晓」と入力すると分らなかつたところが埋まつた形で抽出される。「*」は一文字だけをあらわすのではなく、この間に何文字入つてもよい。これと④のフレーズ検索との組み合わせで行う検索で得られたさまざまな結果については(五)「高度な検索から何が見えたか」で詳しく述べる。

⑥ドメイン制約検索

ドメイン制約検索は、ある情報が入っているサイトからより能率よく、情報を抜き出す方法である。例えば、人民日報が開設しているサイト、「人民網 www.people.com.cn」から「上海万博」についての情報だけを抜き取る場合、「キーワード site: サイトアドレス」、つまり「上海世博 [site:www.people.com.cn/](http://www.people.com.cn/)」を入力する。

⑦ストップ語検索

ストップ語とは、英文でよく用いられる *go* のような代名詞や *The*、*a* のような冠詞、*http*、*www*、*com*、単一数字、単一文字のことを言う。このストップ語は自動的に検索キーワードとして認識されない。つまり、「IT 企業」について調べようとしても、「IT」を認識しないの

である。そこで、これらを検索キーワードとして認識させたい場合に「+」をストップ語の前に足して検索するのである。

以上、高度な検索方法を厳選して紹介した。Google については、他に、学術論文検索用サーチである、「グーグルスカラー」や類義語を検索する「グーグルセツツ」、検索キーワードを一緒に考えてくれる「グーグルサジェスト」、海外ネット通販検索サーチの「グーグルカタログ」、大学情報を検索する「グーグルユニバーシティ」、ブログだけに限定して検索する「グーグルブログサーチ」、そして、二〇〇六年九月一四日に日本語版の提供も始まつた、地球全体を衛星写真で鳥瞰できる「グーグルアース」など豊富なコンテンツが用意されている。これらを使いこなすことで、より世界が、中国が近くなることだろう。

(五) 高度な検索から何が見えたか

——授業の現場で学生とともに

インターネットから見た中国 ——

何かを調査しようと思つたら、実際に中国に向いて、アンケートをとつて、数値化するという作業をすることに。しかし、それはフィールドワークや卒業研究などのレベルになつてすることで、ふだんそこまでやれる余裕は

ない。では、ふだんの授業の中で、小さな問題に対して、中国や中国人の大まかな傾向を知る方法はないだろうか、以下に紹介するのは、それをするので、今までに見えなかった中国の姿を見、学習者の中国に対する興味を深めてもらいたいという願いから出発したものである。

著者は学生たちに前述の④フレーズ検索と⑤ワイルドカード検索を用いて、中国人の嗜好をのぞいて報告するようという課題を出した。例えば中国人はどこで眠るのが好きなのかと調べたいとき、「私は(何とか)で眠るのが好きだ」という文でフレーズ検索を行うのだが、この「(何とか)」を「*」に置き換え、「我喜欢在*睡觉」を入力し、検索を行う。すると「*」に具体的な場所が入ったフレーズの検索結果が抽出される。これだけで調査になるわけではないが、中国人の嗜好や行動をみる目安にはなる。まず、このような例をあげ、次に学生自身で、中国人が普段の生活でどんな行動をとっているのか、好きなものは何か、といった傾向を上述検索方法で調べてもらい、具体的な数までをあげてもらった。

このような授業活動を行う目的は次の二点である。一つは、このような検索方法を通じて中国人の生活をのぞいてもらうこと。もう一つは、辞書では調べきれない動詞と目的語のコロケーション(「搭配」)を知ることである。辞書やテキストだけでは、どうしても中国語の運用能力が貧弱

になる。学習者が、実際にどのようなように用いられているのかを自分の興味の中で自由に調べられれば、学習者自身のモチベーションの向上にもつながる。

以下、学生が出した結果を筆者がまとめ再構成し、場合によっては再検索した結果を示すことにする。

(1) 食べ物

「我最喜欢吃的水果是*」/「我早上吃了*」

好きな食べ物、日本人中国人に関係なく、話題にもしやしいし、だれもが興味のある分野である。食べ物という漠然としたものを検索する場合は、的をできるだけ絞ったほうがいい。そこで、上の例にあるように果物に絞ってみた。この文型で抽出される果物を見てみると、「西瓜、荔枝、苹果、香蕉」が上位を占める。中国らしいと思われるだろう。この他、「草莓、芒果、桃(子)」や少数派で「菠萝、榴莲、杨桃、橘子、石榴」が抽出された。こうして出てくる果物はいずれも中国人にとってなじみ深い果物であり、学習者自身は、こうした検索を通し語彙を増やすことができる。

また、中国人の食習慣をみるのに、朝食をみてみよう。朝ごはんは何を食べているのだろうか。調べてみると、典型的な中国の朝ごはんを食べている人とさらに簡単にすすませている人がいることがわかる。例えば、

我早上吃了个鸡蛋。/我早上吃了一块钱五毛豆浆五毛

包子。／我早上吃了稀粥。／我今天早上只吃了一片蘸果酱的土司而已。／我早上吃了香蕉。／我早上吃了一碗咸豆腐脑、四个小煎包。／我早上吃了两个炒鸡蛋和一杯牛奶，还有三个蛋糕。

どうだろうか。さまざまなスタイルで朝食をとっていることがわかる。最初にお粥は「吃」ではないと説明したばかりだが、検索をかけると意外に出てくる。しかし、ヒット数は「喝」の方が多いことも確かだ。また、「吃」ときても食べ物とは限らないということが次の例からわかる。

我早上吃了晕车药。

この検索結果から、「吃药」のコロケーションを感じることも可能だ。

(2) スポーツ

“我最喜欢的运动是*”／“我最喜欢打/踢*”

中国人の好きなスポーツと考えるとどんなものか思ってください。卓球やバドミントン、サッカーが盛んであることは知っているが、実際の市民はどうだろうか。上の検索方法で抽出してみると、「游泳、籃球、羽毛球、足球、乒乓球」のように少々異なる結果が得られる。中国人全体から受けるイメージと個人の趣味で行われる場合では少々様相が違ふようだ。ちなみにゴルフや野球はこれらに比べてあまり抽出されない。また、中国ならではの、「毽子（毽球）」などが抽出されるのも面白い。

(3) 学生の動向

“我（不）喜欢上*课”／“我（不）想学*语”

中国の学生が「好きな」授業はなんだろうか。漠然と想像はできるが、実際にはどうだろう。同様に抽出してみた。検索をして百件を超えたものだけをまずあげてみると、「语文、数学、体育、音乐、英语（英文）」であった。これだけで終わるのも面白くない。「嫌いな」も同じように検索をかけてみた。すると、百件を超えたのは「体育」のみであった。結論から言えば、おそらく一番好きなのは「语文」ということになるだろう。

北京オリンピックを目前に外国語学習ブームが起きているが、次に何語を学びたい人が多いのかみてみた。このうち、千件を超えるものに、「英语、韩语、日语、法语」があった。逆の「学びたくない」の場合、「英语」がトップ、その次が「日语」だった。おそらく学校の方針で日本語を学ぶ中学も多いので、どうしてやりたくもない日本語をやらねばならないのかという不満も多いのだろう。

(4) 生活

“我骑自行车去*”／“我喜欢在*睡觉”

中国人にとって欠かせない乗り物と言えば、自転車である。もちろん、近年自動車もずいぶん普及してきているが、万人の乗り物と言えばまだまだ自転車だ。中国人が「自転車に乗って、どこへ行く」のかを検索してみた。

我骑自行车去上学。／我骑自行车去上班。

は当然でてくるだろうと予想がつく。実際ヒット数も多い。

我骑自行车去加班。／我骑自行车去一个地方开会。／

我骑自行车去首都体育馆听音乐会。

というような、日常生活の延長のような例や、

我骑自行车去周庄游玩。

というようなサイクリングで遠出する例まで抽出される。

“周庄”は上海近郊の観光地だ。

また、「どこで寝るのが好き」かについても検索をかけてみた。すると、オソドックスなものから、日本人でも

共感できる場所まで、さまざまな用例がかかった。

我喜欢在自习室睡觉，因为那里安静！／我喜欢在沙发

上睡觉。／我喜欢在家里睡觉。／我喜欢在外面睡觉。

／我喜欢在车上睡觉。／我喜欢在面包车上睡觉。／我

也喜欢在浴缸里面睡觉的。／我最喜欢在电影院睡觉。

／我喜欢在月亮底下睡觉。

このように生きた表現の中から中国人の生活の一端にふれることができるのはインターネットの醍醐味である。

また、

他喜欢在晚上睡觉，我喜欢在白天睡觉。

のような、「在」の後ろに時間をあらわす名詞がくる例にもでくわす。

このようにインターネットを使うことで、中国人の好みを楽しみながら調べていくことができる。しかし、インターネットは、破格の用法の「宝庫」であり、文章として玉石混交であることも否めない。したがって、それを判断できる能力を養うとともに、論文などに引用する場合はネイティブへの確認も怠ってはいけない。

高級検索を利用して、さらに用法を探っていくと、辞書では解決できないような語句やいまわしについても、大きなヒントを与えてくれる。次に、そのことを具体的な例をあげながらみていこう。

二 語句を調べる

(一) フレーズを調べる

〔叫出租车〕

なんでもないようなフレーズである。辞書を引くと「タクシーを呼ぶ」とある。しかし、「タクシーを呼ぶ」というのはホテルやレストランで、その従業員に電話などと呼んでもらうことである。「叫出租车」とはそういう意味なのか。安頓の「快乐是我的面具」(「回家」)に次のような例があった。

从手术室出来，他扶着我慢慢走到医院门口，叫了一辆

出租车。

日本なら病院の受付でタクシーを呼んでもらうこともあるだろうが、ここは中国だ。これは単にそこで客待ちをしていたか、あるいは流しのタクシーをひろっただけではないかと想像できる。そこで「百度」で「高級検索」をした。すると次のような例が出てきた。

于是我们招手叫了一辆出租车，居然还是皇冠。（そこで私はまた手を振ってタクシーを一台呼び止めた。ところがやはりクラウンだった）

我和他走到街上，招手叫了一辆出租车。（私と彼とは通りへ出て、手を振ってタクシーを一台呼び止めた）她用了大约半个小时的时间，总共叫停了六辆出租车，最后她还是走路回了自己的家。（彼女はおよそ半時間のために、全部で六台のタクシーを呼び止めたが、最後はやはり歩いて家に帰った）

これらは声を出しているわけではなく、手を振って「呼び止めている」だけである。

过了马路，我就叫了一辆出租车。（道路を渡ったところで、私はタクシーを一台呼び止めた）

一出门，张晶就叫了一辆出租车。（外へ出るとすぐにチャンチンはタクシーを呼び止めた）

これらの例からは道路で「呼び止める」ということがわかる。電話で呼んだわけではない。もちろん、次の例のよ

うにだれかに頼んで呼んでもらうこともある。

我让酒店的服务员帮我叫了一辆出租车回家了。（私はホテルのボーイにタクシーを一台呼んでもらって家に帰った）

要するに、「叫出租车」は「車を呼ぶ」だけでは不十分で「車をとめる」場合もあると理解しなくてはいけない。

〔倒垃圾〕

語彙の話をするときに、「倒茶」（お茶をいれる）と「倒垃圾」（ゴミを出す）は、日本語に訳すとかなり違ったものなのに、中国語でどうして同じ動詞かという質問を学生にしてきた。答えはどちらも「容器を傾ける」動作というわけだが、この「ゴミを出す」というのはいったいどういうことか気になった。というのは、語の意味からいうと容器を傾けるわけであるから、「ゴミ箱を傾けて中のゴミをあげる」ことになるのだが、いまどきそんなゴミの出し方をするのかという疑問がわく。そこでまた高級検索をした。

まず、文字通りの「容器を傾けて中のゴミをあげる」というのはもちろんある。

我住在一座塔楼的十八层。刚搬来那天，我做的第一件事是寻找垃圾管道。我端着满满一簸箕垃圾，逡巡在楼道里，考察了每一个类似管道的入口的地方。结果都告

失敗。每个口都关得死死的。后来我终于发现了真正的垃圾管道。我之所以确认这一点是因为管道口上方赫然写着：“此处禁倒垃圾！”。

これは「ちりと一杯のゴミをすてよう」と一八階の廊下を探し回る光景である。日本ではないが、中国ではアパートによっては各階にゴミをすてる口があって、それをさがしているのだが、確かにそうだと思つた口は堅くとざされていたというわけである。こんなふうには直接ゴミを捨てる行為はもちろん「倒垃圾」である。

年初、镇政府给我们每家发了一个垃圾桶，让我们把垃圾倒在垃圾桶里，每天由清洁工把垃圾拉走。人们不再把垃圾倒在河里。（年初、町の役所は各家にゴミバケツを配給し、そこにゴミをあげるようにと言つた。毎日清掃労働者が運んで行くので、人々はもうゴミを川にすてなくなつた）

我把四岁的儿子留在屋里，跑出去把垃圾倒在垃圾桶里。（私は四歳になる息子を部屋に残し、走り出てゴミをゴミバケツにあけた）

常常有人刚把屋里扫干净，一转身就把垃圾倒在了院子里。阿敏在屋角放了一个塑料袋，让爸爸妈妈，还有三个弟弟妹妹把垃圾丢进塑料袋里。（人々はしばしば部屋を掃除すると、その手でゴミを中庭に捨てた。アーミンは部屋の隅にビニール袋を置き、みんなにその中

にゴミを捨てるようにと言つた）

把垃圾倒在没有垃圾袋的垃圾桶内。（ゴミをゴミ袋のついでないゴミバケツにあける）

しかし、このフリーズは意味が派生して、単に「ゴミを出す」場合にも使われる。たとえば次の例。

每晚八点到一〇点，可以乘电梯倒垃圾，垃圾袋必须封好，不许漏味漏汤。（每晚八時から一〇時の間はエレベーターのつてゴミを捨てに行つてよい。ゴミ袋は臭いや汁が出ないように密封しないといけない）

“妈妈，我去倒垃圾了”（母さん、ぼくゴミを出しに行つてくるよ）

他看了看我的垃圾袋说：“分类准确无误，但是您倒垃圾的时间不对，我们这里只允许在每周一、周四的晚上九点以前倒垃圾。”（彼は私のゴミ袋を見たあとと言つた。「分類基準は間違いない。しかし、出す時間が正しくない。ここでは毎週月、木の夜九時以前に出さないといけない」）

你坐了一整天，出去走走，把倒垃圾与散步结合起来。（あなたは一日座つて仕事をしているんだから、散歩にでたら。ゴミ出しと散歩を結びつけるのよ）

これらはどれも「ゴミ袋を捨てに行く」ことである。「ゴミ袋をもつていく」のであるから、「送垃圾」と言つてもおかしくないし、実際、次のような例もある。

人们听见哨音，纷纷走出家门，把垃圾送到门口的清运车上。（人々は合図の音を聞くと、つぎつぎと家を出て、ゴミを玄関の清掃車に運んでいく）

しかし、こういうばあいでも「送（垃圾）」というのは抵抗があるようで、すべて「倒垃圾」で総称できるようにだ。

就拿倒垃圾来说，德国人是严格执行垃圾分类的。（ゴミ捨てについて言うと、ドイツ人はゴミの分類にはとてもきびしい）

想不到，到了日本东京，我变得不会倒垃圾了。（なんと、日本の東京にきたら、私はゴミ出しができなくなってしまった）

（二）いいまわしを調べる

〔那，我请客，你付钱吧〕

荒川清秀・周関・塩山正純著『キャンパスライフ中国語』（白帝社）第一三課に出した例だが、はたして一般的な気になって高級検索してみた。一般的には、「谁请客谁付钱」（言いだした者がお金を払う）のが筋だが、それを逆手にとって、誘いはしたが、払うのは別というのがこのことばの面白味である。なお、「你请客，我买单」ともいう。

吕小默说要我赔偿他的精神损失，把我拉到KFC请他

吃了一顿。不过还是老规矩，我请客，他付钱。（リュウシアオモーは精神的な打撃の償いをしろと言い、わたしを、ケンタッキーに連れて行ってごちそうさせた。しかし、いつもの決まりで、私の招待でかれが金を出した）

彪哥咧嘴一笑：「哪能让你付钱？你请客就行了。」（ピアオ兄は口をゆがめてにこっとして言った「どうしてあなたにお金を払わせられますか。あなたは誘ってくれただけでいいんです」）

如果是朋友们请我出去，有时也会是我付钱，不过要看情况。比如说：请客前要说好，他们请客我买单；我去了，自然要买单了。不过饭后节目，自然是他们买单了。（友だちに誘われて出て、時に私が払うこともあるが、それも状況による。たとえば、誘う前にちゃんと決めておく。かれらの誘いで私が払うと。それから、行ったら当然払わなくてはいけない。しかし、食後のプログラムとしては当然かれらが支払いをすることになる）

「我请客可以，不过你们付钱！呵呵，因为我身上才几块钱。」（私が誘うのはいいけど、君たちお金は払えよ。ははは。私には数元あるだけだからな）

就这样，第二天中午的时候我们去吃饭了，聊得照样很投机，到买单的时候，我说：「你请客，我付钱。」她坚

決不肯、一定要付钱。我实在没办法，就说：『那下次我请你吧！』（このようにして、次の日のお昼、私たちは食事に行った。いつものように話はずんだ。支払いの時になって、私は言った。「あなたを誘いで、私がおごる」。彼女は承知せず、どうしてもお金を払うと言った。私は仕方がないので言った。「それじゃ、この次は私がおごるよ」）

〔差不多就结婚吧〕

安頓の「愛恨情仇」（『相逢陌生人』）の中につぎのような例が出てきた。

『你们也都是快三十岁的人了，差不多就结婚吧。』

『差不多结婚』は、「ほとんど結婚する」だから、そういう意味かというところではない。間に『就』が入っているから、「差不多」なら『结婚』ということになる。高級検索をかけてみた。するとかなり用例が出てくる。

我真的想结婚了，我常常对自己说，差不多就结婚吧。但是人海茫茫，属于我的那一半究竟在哪里呢？（私は本当に結婚したくなったの。私はよく自分に言い聞かせるの。まあこんなものだと思ったら結婚したらって。しかし、人はいくらでもいるのに、私（に属する）の伴侶はいったどこにいるのかしら）

母亲劝她差不多就结婚吧，说女人结了婚才会觉得踏实

了。（母親は彼女に、そこそここのところで結婚したら、女は結婚してこそ心によりどころができるものと忠告した）

我看这姑娘不错，差不多就结婚吧！（この子はわるくないよ。まあいいと思ったら結婚したら）

后来妈妈说：我们俩都不小了，也处了好几年了，这么拖下去也不是回事，差不多就结婚吧。（その後母は言った。私たち二人ももう若くないし、もう何年もつきあつてきた。このままずるずるいつてもよくない。ほどほどのところで結婚したら）

偶然地我也会劝她，『差不多就结婚吧，像施总这样的既能做搭挡，又能做丈夫的男人真是差不多了。』（たまにも彼女に忠告するときがある。「こんなものだと思ったら結婚したら。シー社長ののように、相棒にもなり、夫にもなれる男は多くないよ」）

「まあこんなもんだと思つたところで結婚したら」ということだ。「このあたりで妥協しておけ」とも読める。そんなタイトルの記事もある。

看了一本他买来的杂志。那上面有一篇文章，题目叫《差不多就结婚吧》。（彼が買ってきた雑誌を見た。その中に「だいたいのところ」で結婚したら」というタイトルの文章があつた）

もう少し具体的に述べた文もある。

差不多就结婚吧！若事事追求完美，那就嫁不出去或娶不到了。（まあこんなもんだと思つたら結婚したら。もしすべてに完璧さを求めていたら嫁に行けないか、嫁をもらえなくなるよ）

一天周末回家的时候，妈妈问我：如果双方差不多就结婚吧。我简直想笑，还差得远呢！（ある週末家に帰ったとき、母が私に尋ねた。「もし、双方がこんなもんだと思つたら結婚したら」。私はまったく吹き出しそうになった。（こんなものどころか）まだまだよ）

要求别太高了，看看差不多就结婚吧。（要求をあまり高くしないことだ。まあこんなものだと思つたら結婚したら）

これらはどれも「差不多（就结婚吧）」の反対を述べていてわかりやすい。

〔怎么么么〕

安頓の「你是我心底深刻的烙印」（『絶対隱私』）に、

大家都说丁力怎么么么有希望成为新的领导。（みんなはティンリーは新しい指導者になる望みがこんなにこんなにあると言つた）

とある、この「怎么么么」の表現が今一つつかみかねて検索してみた。

天怎么么么蓝，雪怎么么么白，山怎么么么高。（空は

こんなにこんなに青く、雪はこんなにこんなに白く、山はこんなにこんなに高い）

这个登山杖怎么么么轻；这个背包怎么么么好。（この登山用の杖はこんなにこんなに軽く、このリュックはこんなにこんなにすばらしい）

他家里怎么么么穷啦，他怎么么么刻苦读书啦。（彼の家はこんなにこんなに貧乏だとか、彼はこんなにこんなにがんばつて勉強したなどと）

说那个人长得怎么么么好，工作怎么么么好，人品怎么么么好什么的。（その人はこんなにこんなにハンサムで、仕事ぶりはこんなにこんなに立派で、人柄はこんなにこんなにすばらしいなどと言つた）

我们学院硬件设施怎么么么完备，师资队伍怎么么么庞大，科研成果怎么么么丰硕。（我が校はハードの施設がこんなにこんなに完備しているし、教師団もこんなにこんなにそろつており、科学研究の成果もこんなにこんなに立派だ）

これだけ例を並べるとニュアンスがわかる。「うはこんなにこんなにどうだ」と言っているのである。後に述語が続かないものもある。

对我说她怎么么么啦，她的朋友怎么么么啦，那个朋友怎么么么啦。（私に言つた。彼女はこんなこんなで、彼女の友だちはこんなこんなで、その友だちはこんな

こんなだと)

後が否定形の場合もある。

每次宿舍卧谈会，总会有人抱怨自己学校怎么怎么不好。(毎回宿舍で寝る前のお話会では、きまつてだけれが自分の学校はこんなにこんなによくないと恨み言を言う)

安頓の「宝宝，对不起」(『悲歡情緣』)にも次のような例があった。

宝宝大声地叫爸爸妈妈，跟同学说『我妈妈』怎么怎么的，特别自然。(パオパオは大声でお父さん、お母さんと呼び、仲間にも「私のお母さん」はどうのこうのと、とても自然だった)

〔没有不喜欢你〕

これも安頓の「宝宝，对不起」(『悲歡情緣』)の例。

我觉得，一开始，晓晴并没有不喜欢宝宝。(最初、シアオチンはパオパオのことを嫌いでもないようだった)

この「没有不喜欢」のところの意味がとりにくかった。ただし、これは、

天下男人没有不喜欢美女的。(この世の男で美女が嫌いなものはいない)

と構造は同じではない。そこで、検索してみた。すると

けっこうでてる。

我没有不喜欢谢霆锋，可能有时我的表情让人误会了，总之我并不讨厌她。(私はシエティンフオンのことが嫌いではない。おそらく、私の表情が時に人に誤解を与えるんだ。つまるところ、私は彼女がいやなのではない)

我没有不喜欢你，不见你是有别的原因。(私はあなたのことが嫌いなのではない。あなたに会わないのは他の理由があるんだ)

我没有不喜欢这个游戏，我也很愿意跟你一起去玩儿这个游戏。(私はこのゲームが嫌いではない。私もあなたといっしょにこのゲームで遊びたいと思っている)

「嫌いではない」と言いたいのだろう。それなら「我不喜欢你」とでも言え方がいいのだが、それだとあまりに直截すぎるのではないだろうか。これはそれよりもっと婉曲な言い方なのだろう。次のような言い方もある。

问李宽，为什么不喜欢。李宽回答说，我没有喜欢也没有不喜欢。(リークアンに聞いた。どうして嫌いな。の。リークアンは答えた。ぼくは好きでもないし、嫌いでもない)

〔有些舒服〕

安頓の「我們在一起，因為我們相愛」(『相逢陌生人』)

に次のような例がある。

我一直都找不出一句合适的话形容那种感觉。当我给一个特好的朋友讲时，她说：“太恶毒了！”我才觉得心里有些舒服。（私はその感覚を形容する適切なことがずつと見つけれなかった。私が親友に話して、彼女が「なんて悪辣なの」と言ったとき、私はやつと心の中が少しすつきりした）

“有些”であれ、“有点儿”であれ、後には“（有点儿）像”（少しに似ている）のような一部の動詞を除けば否定的なニュアンスをもつ語がくる。ところがここでは肯定的なことばがきているのである。こうしたことも口語では許されるのか。検索してみた。すると、

有些舒服 一万六〇〇〇件

有些不舒服 五万三〇〇〇件

有点儿不舒服 一〇五万〇〇〇件

のような結果が出た。“有些舒服”は数こそ少ないが、決して言わないわけではないようだ。ちなみに、周りのネイティブに聞いてみると、これをおかしいという人と許容するという人がいた。口語ではこのような言い方も許されるのであろう。ネットからの例を少しあげておこう。

今天和同事聊了好多，心里有些舒服了。（今日同僚とずいぶん話をして気持ちが少しすつきりした）

听了老公的话有些舒服了。（夫のことばを聞いて少し

すつきりした）

北京的天是怎么了，一会儿冷，一会热的。但有时候会觉得这样的天气有些舒服。（北京の天気はどうしたんだろう。寒くなつたと思つたら暑くなつて。しかし、時にこんな天気がいささか気持ちよく感じるときがある）

但是见孙兰馨高兴，心中也有些舒服了。（スンランシンが嬉しそうにしているのを見て、気分がすこしよくなった）

歌不错，听起来有些舒服，也有些伤感。（歌はずばらしく、聞いていて少し気持ちがよかつたし、また少しセンチメンタルにもなつた）

〔不就么〕

これも安頓の「我們在一起，因為我們相愛」（『相逢陌生人』）での疑問。次のような文に出会つた。フランス人と結婚した中国人女性が心ない人々から揶揄される場面である。

“你不就找了个外国人吗？你有什么了不起的？”（たかが外国人を相手に選んだだけじゃないか。なにがたいしたものか）

この「不就么」は『白水社 中国語辞典』には、反語のパターンとして出ているが、もう少し例をみたくて高級

検索をかけてみた。ただし、この場合は、「不就*吗」のように、途中で他の語句がきてもいいようにワイルドカード検索を試みた。

我敬爱的连长同志啊，您不至于吧？我不就偷了几个瓜吗，也不能用炮轰吧？（尊敬する中隊長殿、それはないでしょう。瓜をいくつか盗んだだけに、大砲を撃つことないじゃないですか）

活着不就为了这个吗？（生きてるのはこのためですよね）

承认有错不就行了吗？（間違いがあることを認めればいいんでしょ）

是啊，只要闭嘴不就没事了吗？（そうだよ。口を閉じさえすればなんでもないんだ）

六里桥不就在西三环上吗？（六里橋は西三環路にあるんでしょ）

人生不就这么回事吗！（人生ってこういうことじゃないんですか）

你怎么穿这种吊带衫，风一吹不就掉了吗？（君はどうしてこんなキャミソールを着ているの。風がさつと吹いたら落ちてしまうじゃないか）

这样做应用题不就很简单了吗？（こんなふうに応用問題をすれば難しくなくなるでしょ）

「你后悔不后悔？」

安頓の「我們在一起，因為我們相愛」（『相逢陌生人』）に、国際結婚をしたカップルが民政局に結婚許可証を取りに行く場面がある。

在步人民政局大门时，我们互相拉着手，彼此都问了对方一句话：『后不后悔？』彼此也回答了同一句：『不后悔。』

この中の『后不后悔？』は「後悔しない？」なのか「後悔していない？」なのか迷ってしまった。学生も予想したごとく前者の訳をした。すでに結婚証明書を取りにきているのだから文脈から後者であろうと予想はつくのだが、日本語としては前者のように訳したくなる。なぜ前者の訳はいけないのか。これは『后悔』が状態動詞であることがわかればいいのだが、状態動詞にはいくつかのタイプがあつて、筆者にも、その振る舞い方がいま一つわかっていなかった。ともかく、『你后悔吗？』『你后悔不后悔？』で検索してみた。すると、以下のような例が出てきた。

来到新西兰你后悔吗？（ニュージーランドに来たことをあなたは後悔しているか）

如果在大学里没有谈过恋爱，你后悔吗？（大学時代に恋愛をしなかったことを君は後悔しているか）

认识我，你后悔吗？（私と知り合ったことをあなたは後悔しているか）

嫁给我你后悔吗？（私に嫁いだことを後悔しているか）

爱上我你后悔吗？（私を愛したことをあなたは後悔しているか）

当教师，你后悔吗？（教師になったことをあなたは後悔しているか）

对自己选择的职业你后悔吗？（自分が選んだ職業にあなたは後悔しているか）

遇到这样的女人，你后悔吗？（こんな女に出会ったことをあなたは後悔しているか）

以上は既然の事実に対してに「後悔している」かどうかを尋ねている。状態を表わす用法である。

ただし、これからのことについて「後悔する」か問題にする場合もある。

如果发生关系之后你们又分手了，你后悔吗？（もし、関係が生じた後別れたとしたら、あなたは後悔するか）

进来不会后悔，不进来肯定后悔。（入ってきたら後悔しないだろうが、入ってこなければきっと後悔するぞ）

もつとも、これからのことについては「会后悔的」と

“会的”のワクに入ることが多い。

不然的话他肯定会后悔一辈子的。（そうでなければか

れはきつと一生後悔し続けるはずだ）

本周英语小组活动安排，错过了你肯定会后悔的！（今週の英語サークルの活動を逃せばあなたはきつと後悔するよ）

明天你不来肯定会后悔哦！（明日来ないとあなたはきつと後悔するよ）

快点买房啊，再不买房肯定会后悔的。（はやく家を買ったら。これ以上買わないでいるときつと後悔するよ）

これらは「状態の始まり」を表わす状態動詞の「出来事」的な用法なのである。

おわりに

以上のように、インターネットを使えば、これまでのように、目を赤くして、必死になって本を読みまくるということをしなくてもすむ。実際目を血眼にして本を読んでも、一〇冊読んで必要な例は数例しか見つからないということもある。それと違って、インターネットはたちどころに、数えきれないくらいの用例を提供してくれる。たとえ破格の用例が多くても、用例を見ることで、思考が動き、論文のテーマがみつかることもある。これは今まで考えられなかったことだ。本稿はそうしたネットを使ってどんなことができるかをわたしたちの教育実践を通し紹介した。

ただ、繰り返しになるが、それはあくまで図書館のパソコンで本を探すようなものである。より大事な本は、その本を探しに書架の間を歩き回っているうちに別の場所に出会うかもしれない。だから、パソコンの利便性は認めつつも、その限界について覚めた頭を持つことも大切だ。そうしてはじめて、この広い海原を迷わず突き進むことができるのである。

注

- 〈1〉 中国語入力ができるようになるまでの教育実践報告については、中西千香「二〇〇五」「パソコン・インターネットを活用した中国語教育」『COM』Vol.16 No.1（愛知大学情報メディアセンター紀要）二〇〇五・九を参照。
- 〈2〉 『手気』はギャンブルなどをするときの運のこと。
- 〈3〉 ちなみに、「便利店」、「方便店」を抽出すると、「便利店」…三三五万件、「方便店」…一万二〇〇〇件、これを②「検索にすると一六三〇〇件、③「便利店」…三三五万件、「方便店」…一万二〇〇〇件、これを④「方便店」で一五八万件と抽出数が増える。
- 〈4〉 これも三国志だけならば、八九一万件だが「三国志」で検索すると四四六万件と半減する。
- 〈5〉 この節で紹介する事例は、愛知県立大学外国語学部中国学科二〇〇六年前期に著者の一人中西が行った、「中国研究基礎演習A」（二年以上受講可、四〇名受講）での実施例によるものである。